

# タウンミーティング

## 中間報告

平成22年度に高畑博市長が就任して以来実施しているタウンミーティングは、これまで286回開催し、延べ約9800人の皆さんに参加いただきました。

令和4・5年度は、2年間で市内に58ある自治組織を主な単位として実施しており、これまで23回開催してきた中で出た意見の一部を紹介いたします。

岡広報広聴課 (☎049・262・9003)

高畑博 市長



### 道路・交通安全

Q 地域内の狭い道路を一方通行にすることはできませんか。

A 道路の規制は、警察を経由して公安委員会が決定します。一方通行化については市内各所で要望をいただきますが、一方通行にする交通量が極端に増えたり、対向車が来ないことで車のスピードが上がったりする場合があります。また、一度一方通行の規制をかけた後、それを解除するのはさらに難しくなってしまうので、慎重な検討が必要になります。自治組織からの要望があるということは、警察にお伝えします。

### 公園

Q 公園の遊具が撤去され、その後は砂場が設置されました。新しい遊具を設置することはできないのですか。

A まちが発展してきた歴史の中で、公園の遊具もさまざまなものが設置されてきましたが、老朽化により危険性が高くなったものうち、修理ができないものは撤去を

### デジタル化

Q 「高齢者はITが苦手」という前提で話が進んでいると感じることがあります。国をあげてIT化を進めているので、市役所での手続きや自治組織への回覧など、もっとデジタル化を進めてほしいです。

A 基本的な考えとして、デジタル化を進めるべきだと考えています。

高齢者でも使いこなしている方はたくさんいると思いますが、今は移行期であるとも考えていて、情報の伝達漏れを起こさないためには、アナログとの併用が必要だと考えています。市としてもDX推進方針を定めており、デジタル化を進めているところです。

### 大井弁天の森

Q 大井弁天の森にある砂川掘削の桜が伐採され、景観が悪くなりました。美観として重要で、市民が散歩する場所でもあります。見栄えと安全対策との兼ね合いが難しいと思いますが、桜を全部切ってしまうことはなかったのではない

でしょうか。

A 弁天の森の桜については、樹木医の診断によると、病気や日照不足による倒木などの恐れがある中で、一部を伐採しました。枝を残しておくともそのものが倒れてしまうため、苦しい判断でした。周辺住民の方々に丁寧に説明し、ご理解をいただきました。引き続き専門家の意見を聞きながら管理してまいります。

### 自治組織

Q コロナ禍で、各自治組織はどのようなイベントを実施していますか。

A これまでは、コロナに対する不安があり活動ができなかったと思いますが、感染症対策を講じながら

徐々に行事を再開されていると思います。餅つき大会などは、その場での飲食は控え、持ち帰って食べるなどの工夫をして実施しているようです。七夕まつりやおおい祭りは、食べ歩きが懸念されたため中止という苦渋の決断でしたが、市としては感染対策を講じながらイベントを再開していこうという考えですので、元の生活に近づくよう努めていきたいと思っています。

Q 自治組織は、地域を支える大切な組織だと思うので、時間をかけて立て直していく必要があると考えます。市として何か支援策があれば教えてください。

A 会員増強のための補助を行っています。自治組織の活動が低下している要因として、子育て世代などの加入

率の低下があります。共働きで子育てが忙しいなど、さまざまな事情があるかもしれません。平時から顔の見える関係づくりが大切だと考えています。また、子どもたちの成長過程において、地域での活動を体験することも大切だと思います。そして、自治組織のつながりは、平時はもちろん、災害時には大きな力を発揮します。災害時の復旧・復興の状況を総務省が調べたところ、震災などの大規模災害が発生したとき、自治組織のつながりが強い地域の方が復興が早かったことが分かっています。コロナ禍の中で地域の方が復興が薄れてしまい、将来に影響を及ぼすことがないよう、取り組んでまいります。

どなたでも参加できます

## タウンミーティングの進め方

### 1 施策の説明 (約30分)

スクリーンを使って、市長が市の取組状況などを説明します。



### 2 意見交換 (約50分)

参加いただいた皆さんに質問や意見などを発言していただき、市長がお答えします。



### 3 終了

## 今後の開催予定

令和5年度は35回開催予定です。5月以降、順次開催します。

詳しい日程が決まり次第、市報や市ホームページでお知らせします。

タウンミーティングの詳細はこちら

